



横須賀の蒸気ハンマー

日本国内に現存するスチームハンマーとしては最も古いものの一つです。スチームハンマーは、蒸気の圧力で鍛造・加工する工作機械で、このプレス容量は0.5トンです。

1865年(慶応元年)、徳川幕府は帝政下のフランスから人材・資材の提供を受け、三浦郡横須賀村に横須賀製鉄所および港湾施設を建設し、日本近代化の基盤を築きました。このスチームハンマーは、横須賀製鉄所で使用されていたもので、オランダから輸入(1865年製造)され、江戸時代末期の1865(慶応元)年から戦後1971(昭和46)年にかけて稼動していました。

この近代化事業は幕府の勘定奉行であった小栗上野介忠順と、フランス海軍技師のヴェルニー(Verny, Francois Leonce)が中心となり推進されました。



1971(昭和46)年2月在日・米海軍の施設船舶修理廠から日本に返還されました。このスチームハンマーは日本に近代西欧の技術が輸入され、西欧文明を消化し、吸収していった歴史を語る貴重な文化遺産です。

なお旧・横須賀製鉄所の3基の「ドライドッグ」は現存し、現在も在日・米海軍の施設船舶修理施設で使われています。

仕様 (specification)

本体総高(total height)	344.0 cm	横(width)	縦(depth)
基礎台(base mount)	261.0 cm x 124.0 cm		
下金敷(lower anvil)	73.5 cm x 34.5 cm		
上金敷(upper anvil)	35.3 cm x 30.9 cm	高(height)	41.6 cm
ピストンロッド振幅長(piston rod stroke length)	73.5 cm		
シリンダー直径(cylinder diameter)	17.8 cm		
プレス容量(pressing capacity)	0.5 t		
総重量(total weight)	12.4 t (推定値 approximation)		



スチームハンマーの沿革

1865(慶応元)年	オランダから輸入、横須賀製鉄所に設置
1971(昭和46)年	2月 在日米海軍船舶修理廠から日本に返還
1973(昭和48)年	3月 横須賀市が国から購入
1979(昭和54)年	12月 横須賀市指定重要文化財
1998(平成10)年	6月 国指定重要文化財

むらの鍛冶屋®

参考資料

<http://www.gijyutu.com/ooki/tanken/tanken2000/y-steam/y-steam.htm>

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/>

e-mail ryou@memenet.or.jp



何でもお気軽にお尋ねください!!